



2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年2月8日

上場会社名 ミツ星ベルト株式会社
 コード番号 5192 URL <https://www.mitsuboshi.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 池田 浩
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長 (氏名) 辻 政嗣
 四半期報告書提出予定日 2023年2月13日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 078-685-5630

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	63,827	14.6	7,280	21.3	8,026	20.3	5,609	18.3
2022年3月期第3四半期	55,674	17.6	6,001	72.2	6,673	67.7	4,743	73.4

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 5,720百万円 (19.3%) 2022年3月期第3四半期 7,092百万円 (71.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	197.52	
2022年3月期第3四半期	163.39	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	114,660	84,890	74.0
2022年3月期	118,963	86,877	73.0

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 84,890百万円 2022年3月期 86,877百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		33.00		110.00	143.00
2023年3月期		120.00			
2023年3月期(予想)				120.00	240.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	83,000	10.9	8,700	13.9	9,400	9.9	6,800	6.6	239.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細については、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期3Q	32,604,198 株	2022年3月期	32,604,198 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2023年3月期3Q	4,249,242 株	2022年3月期	3,822,063 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期3Q	28,397,405 株	2022年3月期3Q	29,030,969 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、中国の新型コロナウイルス感染症への対応の混乱による影響を受けましたが、世界的な行動制限の緩和や解除が進み、回復基調にて推移いたしました。一方、今後も世界経済は、ウクライナ戦争、原材料価格の高騰が続くうえ、世界的なインフレと金利の上昇による景気後退懸念が強まっております。これに加え、国内では円の急激な為替変動による影響も懸念されており、依然として不透明で予断を許さない状況にあります。

このような環境のなか、2022年5月に'21中期経営計画（2021年度～2023年度）の見直しを行い、変化にぶれない強い企業体質の確立を目指し、財務体質の強化から資本効率の向上へと進化を図り、収益向上とバランスシート改善に取り組んでおります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の当社グループの業績は、期初に想定した以上の円安の影響もあり、売上高63,827百万円（前年同期比14.6%増）、営業利益7,280百万円（前年同期比21.3%増）、経常利益8,026百万円（前年同期比20.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は5,609百万円（前年同期比18.3%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

[国内ベルト]

自動車用ベルトの売上高は、四輪車用システム製品の新機種立ち上げなどが寄与し増加、補修向けはバス・トラック用ベルトが増加しました。一方、二輪車用補修向けはユーザによる在庫調整に伴い需要が減少しました。自動車用ベルト全体では増加となりました。

一般産業用ベルトは、半導体不足による顧客での生産調整の影響を受けたことなどから減少しました。

一方、搬送ベルトは、食品業界や物流業界向けの販売がいずれも好調に推移し、補修需要も回復してきたことから増加しました。

加えて、合成樹脂素材においても市況の回復や、キャストナイロン等の主力製品の拡販活動が寄与し、売上高が増加しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は21,597百万円（前年同期比3.2%増）、セグメント利益は7,138百万円（前年同期比19.7%増）となりました。

[海外ベルト]

自動車用ベルトの売上高は、四輪車用については、ゼロコロナ政策の影響が残る中国では減少しましたが、東南アジアを中心に回復しました。一方、二輪車・多用途四輪車用については、米国での補修市場の在庫調整等の影響を受け、その他の地域においては堅調に推移しましたが、前年同期比微減となりました。自動車用ベルト全体では増加となりました。

一般産業用ベルトは、東南アジアや欧米にて、新規需要拡大、拡販活動に努めた結果、売上高が増加しました。

また、OA機器用ベルトについても半導体不足の解消により、顧客の生産が回復し、売上高が増加しました。

以上の結果、為替の円安影響もあり、当セグメントの売上高は34,685百万円（前年同期比29.5%増）、セグメント利益は3,145百万円（前年同期比22.4%増）となりました。

[建設資材]

建築部門は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、建築防水工事の遅れがあったものの、公共物件を中心に改修工事市場の回復により、売上高は増加しました。一方、土木部門は完成工事物件の減少や規模の縮小が影響し、売上高は減少しました。

その結果、当セグメントの売上高は3,557百万円（前年同期比12.5%減）、セグメント利益は137百万円（前年同期比4.5%減）となりました。

[その他]

その他には、エンジニアリング ストラクチャル フォーム、電子材料、仕入商品などが含まれております。

その他の売上高は電子材料の拡販もあり、3,986百万円（前年同期比2.6%増）、セグメント利益は122百万円（前年同期比1.8%増）となりました。

(注) 上記の各セグメントにおける売上高は外部顧客への売上高を記載しており、セグメント利益はセグメント間取引消去前の金額を記載しております。

なお、セグメント利益は、営業利益ベースの数値であります。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末は、流動資産が3,162百万円、固定資産が1,141百万円それぞれ減少したことから、総資産は前連結会計年度末比4,303百万円減少の114,660百万円となりました。

負債は、流動負債が1,292百万円、固定負債が1,024百万円それぞれ減少したことから、前連結会計年度末比2,316百万円減少の29,770百万円となりました。

純資産は、自己株式が1,164百万円増加したことに加えて、配当金の支払等により利益剰余金が960百万円減少した結果、前連結会計年度末比1,987百万円減少の84,890百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の73.0%から74.0%に上昇しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

世界的な景気減速の懸念、急激な円の為替変動等により先行きが依然として不透明で予断を許さない状況にありますが、現時点で入手可能な情報をもとに算定いたしました。

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年11月8日に公表いたしました内容に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	34,708	29,544
受取手形、売掛金及び契約資産	17,788	17,794
商品及び製品	15,324	16,380
仕掛品	2,115	2,491
原材料及び貯蔵品	3,892	4,286
その他	833	1,026
貸倒引当金	△123	△145
流動資産合計	74,540	71,378
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,329	7,384
機械装置及び運搬具（純額）	9,115	9,307
工具、器具及び備品（純額）	2,054	1,915
土地	3,958	3,972
リース資産（純額）	1,409	1,507
建設仮勘定	2,804	3,883
有形固定資産合計	26,671	27,970
無形固定資産	891	713
投資その他の資産		
投資有価証券	15,179	12,858
その他	1,698	1,758
貸倒引当金	△18	△18
投資その他の資産合計	16,860	14,598
固定資産合計	44,423	43,282
資産合計	118,963	114,660

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,898	10,155
短期借入金	3,227	3,229
未払法人税等	1,576	546
賞与引当金	928	195
製品保証引当金	508	502
その他	6,075	6,293
流動負債合計	22,215	20,923
固定負債		
長期借入金	900	225
退職給付に係る負債	2,226	2,637
役員退職慰労引当金	13	15
その他	6,730	5,968
固定負債合計	9,870	8,846
負債合計	32,086	29,770
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,150	8,150
資本剰余金	2,119	2,143
利益剰余金	70,315	69,355
自己株式	△6,395	△7,559
株主資本合計	74,188	72,090
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,368	7,793
為替換算調整勘定	3,344	5,084
退職給付に係る調整累計額	△25	△78
その他の包括利益累計額合計	12,688	12,799
純資産合計	86,877	84,890
負債純資産合計	118,963	114,660

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	55,674	63,827
売上原価	37,680	43,303
売上総利益	17,994	20,523
販売費及び一般管理費	11,993	13,243
営業利益	6,001	7,280
営業外収益		
受取利息	70	167
受取配当金	362	394
為替差益	278	345
その他	231	247
営業外収益合計	943	1,155
営業外費用		
支払利息	33	37
固定資産除却損	150	268
その他	86	104
営業外費用合計	270	409
経常利益	6,673	8,026
特別利益		
投資有価証券売却益	151	—
特別利益合計	151	—
税金等調整前四半期純利益	6,825	8,026
法人税等	2,082	2,417
四半期純利益	4,743	5,609
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,743	5,609

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	4,743	5,609
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,452	△1,575
為替換算調整勘定	805	1,740
退職給付に係る調整額	91	△53
その他の包括利益合計	2,349	111
四半期包括利益	7,092	5,720
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,092	5,720
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	国内 ベルト	海外 ベルト	建設資材	計				
売上高								
外部顧客への売上高	20,932	26,793	4,064	51,790	3,883	55,674	—	55,674
セグメント間の内部売上高 又は振替高	8,684	1,324	0	10,009	891	10,900	△10,900	—
計	29,617	28,118	4,064	61,800	4,775	66,575	△10,900	55,674
セグメント利益	5,963	2,569	143	8,676	120	8,796	△2,795	6,001

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、設備機械、他社仕入商品、エンジニアリング ストラクチャル フォーム、サービス事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△2,795百万円には、セグメント間取引消去△159百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,635百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	国内 ベルト	海外 ベルト	建設資材	計				
売上高								
外部顧客への売上高	21,597	34,685	3,557	59,840	3,986	63,827	—	63,827
セグメント間の内部売上高 又は振替高	10,911	1,578	0	12,491	1,716	14,207	△14,207	—
計	32,509	36,264	3,557	72,331	5,703	78,034	△14,207	63,827
セグメント利益	7,138	3,145	137	10,420	122	10,543	△3,263	7,280

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、設備機械、他社仕入商品、エンジニアリング ストラクチャル フォーム、電子材料、サービス事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△3,263百万円には、セグメント間取引消去△505百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,757百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。